

消防トピックス

～ 100 人の女子力が結集～

「結の故郷 女性分団」

福井県大野市消防団

1 大野市の紹介

大野市は、福井県の東端に位置し、日本百名山に選ばれた荒島岳（1,523 m）をはじめ、周囲を1,000 m級の美しい山々に囲まれた自然豊かで、名水と食に育まれた、「北陸の小京都」と呼ばれる歴史、文化、伝統が息づくまちです。

面積は、県内一の872平方キロメートルを有し、その約80パーセントを林野に覆われており、人口は35,000人余りです。



福井県大野市の位置

大野市消防団は、現在、1本部、10分団、36部、480名で組織されており、女性分団は、団本部に属し、分団長以下100名の女性消防団員が活動しています。

2 女性消防団員・女性分団の誕生

(1) 女性消防団員の誕生

地域や住民を火災などの災害から守る消防団員が全国的に減少しており、少子高齢化が進む地域社会の防災力の充実強化には、女性消防団員が必要不可欠な存在であり、大野市においても、安全・安心なまちづくりを実現するため、平成20年4

月1日に、初めて女性消防団員を14名採用しました。部長1名、班長2名、団員11名が、団本部付で消防団活動をスタートしました。

平成24年4月1日に、さらに1名が採用され、15名となり、消防団員としての教養・訓練を重ねて、大野市消防総合訓練をはじめとする各種訓練に参加するほか、市民に対しての防火広報活動等、女性ならではの感性を生かした活動を行っています。

※結の故郷（ゆいのくに）

大野市では、人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などの本市が誇る魅力ある素材のすべてを越前おおのブランドとして磨き上げ、元気な大野の実現を目指すため、平成25年度に「越前おおのブランド」を策定し、それに基づき、大野市全体のブランドイメージを表現するキャッチコピーを「結の故郷越前おおの」と決めました。

(2) 女性分団の誕生



結成式（分団旗付与）

平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」（消防団等充実強化法）が公布されました。

大野市では、少子高齢化になおの拍車がかかる

消防トピックス

中、地域に密着した女性団員を増員することで、大野市消防団の組織力の強化と地域防災力の向上を図るため、平成26年4月1日に、女性消防団員を新たに85名採用し、分団長以下3部編成の総勢100名の「結の故郷女性分団」が誕生しました。

6月1日に行われた結成式では、各団員に辞令が交付され、真新しい分団旗が団長から分団長へと付与されました。続いて上村則子分団長が、「女性ならではの感性を生かして、安全で安心して暮らせる大野市を目指し、研さんすることを誓います」と力強く決意の言葉を述べました。

安間勝也団長は、「380名の男性団員と100名の女性団員が、心一つにして、災害に強いまちづくりに向け、まい進していきたい」とあいさつし、新しい女性分団としてのスタートを切りました。

3 これまでの女性消防団員の活動内容

これまで女性消防団員は、消防訓練や大野市消防団操法大会等に参加し、大会運営に携わるほか、規律・統制のとれた訓練礼式や軽可搬ポンプ操法を披露するなど、男性団員顔負けの活動を行ってきました。



大野市総合防災訓練（土のう作り）

その一方で、全国女性消防団員活性化大会に参加し、先進的な取組を行っている女性消防団員の活動状況を学び、女性消防団員としてのあり方を検証しているほか、消防団幹部候補中央特別研修を受講し、将来の幹部団員の育成にも取り組んできました。

また、火災予防運動期間中には、予防広報はも

とより、市内の幼保育園で防火紙芝居を披露したり、各種イベントへ積極的に参加したり、その活動は多岐にわたっています。



大野市消防団操法大会（大会運営）

これらの活動を通して、「女性ならではの視点で」「女性の立場で、地域の役に立つためには」「今、私たちにできることは何だろう」ということを団員全員で考察しながら、今日に至っています。

4 今後の女性分団の活動

平常時には、一人暮らし高齢者や高齢者世帯への住宅防火訪問などの防火・防災啓発活動、災害時には、応急救護支援や避難誘導、避難所運営補助、また、災害現場での情報連絡等の後方支援などを行うべく、分団長が中心となり、消防団員としての基礎的な教育訓練を重ねていきます。

大野市民のために、「自らの地域は自らで守る」という崇高な郷土愛護の精神のもと、地域の安全・安心を守る中核的な担い手として、大きな役割を果たし、女性ならではのあたたかさときめ細やかさを最大限



結成式（新入団員）



に生かし、地域に根ざした活動を行っていきます。

5 新入団員の声

ア 入団したきっかけ イ 入団して思うこと

(1) 会社員 (44歳)

(母娘で入団、夫も団員)

ア 私の入団したきっかけは、近所の人から声を掛けられたことです。

主人も消防団に入っているのですが、男性と同じような活動をするのなら、やめておこうと思ったのですが、女性消防団員は、全く違う活動をするという聞いて、娘と一緒に入団することを決めました。

イ いちばん始めに思ったことが、「できるかな…」 「勤まるかな…」ということでしたが、人の役に立つ女性消防団員に、少しずつなればいかなと思っています。

皆さんの迷惑にならないように、できる限りがんばろうと思っています。

(2) 主婦 (42歳)

(実父、実弟、義弟が団員)

ア 入団したきっかけは、父からの勧めでした。父、弟、そして義弟も消防団員で、家族が集まると、共通の話題は、消防団の操法大会のことだったりしたので、入団することに抵抗はありませんでした。

イ 入団して最初に驚いたのは、消防署のかたがたや先輩女性団員のかたがたの所作の美しさでした。指先まで伸ばしての敬礼や「起立」「気をつけ」の号令に合わせての動作など、学生時代以来の雰囲気、澄んだ気持ちになりました。

おおげさかも知れませんが、悲しい事件が多いこの時代にこそ、背筋を伸ばすような消防団員としての動作、地域の団員との

つながりなどが必要となっていくのではないかと感じました。

これからは、時間の許す限り、活動に参加させていただくとともに、消防団のすばらしさを一人でも多くの人に伝えていきたいと思います。

(3) 会社員 (41歳)

ア 仕事柄、消防署のかたとお会いする機会が多く、募集のお話を伺い、募集に関するポスター等を気にして見るようになりました。何度か、消防署へ訪問するうちに、入団を勧められ、入団することになりました。

イ 消防団の活動機会の多さに驚いています。今までは何となく見聞きしていたことに、消防団が深く関わっていることにあらためて気づきました。

今後、いろいろな場面での活動が増えていくと思います。皆さんのお役に立てるように努力します。



結成式

6 おわりに

先人から受け継いできた、お互いを助け合い地域とのつながりを大切にする「結の心」を再認識し、「結の故郷」の名にふさわしい女性分団として、今後、100人の女子力を結集し、大野市消防団として更なる組織力の強化・活性化を図り、市民力、地域力の向上に努めていきます。